

特集 自治体病院の存在意義

自治体病院は、全国の300床以上の病院の約4分の1、救命救急センターの約4割、基幹災害医療センターの6割、周産期母子医療センターの4割、へき地医療拠点病院の7割を占めるなど地域の医療を支えている。しかし、その経営は厳しい。2008年度の「地方公営企業年鑑」によると、自治体病院に繰り入れられた一般会計繰入金金は7,323億円に及ぶが、運営規模の縮小や診療休止に追い込まれる病院も相次いでいる。非効率さも目立つ自治体病院であるが、その存在意義はどこにあるのか。どのようにして経営を変革していくべきなのか。多面的に議論を行う。

自治体病院の存在意義はどこにあるのか
公私の役割分担と公立病院改革
地域医療を支える自治体病院のあるべき姿

伊関 友伸
島崎 謙治
佐藤 元美

【事例】奮闘する自治体病院】

へき地医療を支える自治体病院
愛知県西部地域の自治体病院の再編
東栄町国保東栄病院—公設民営化への道
医師会・市民らが連携して病院を支える
—地域医療の再生を目指して

白石 吉彦
余語 弘
原田 典和
富原 均

【事例】自治体病院はどう見えるか】

勤務医から見た自治体病院経営
短期任用職員の見た自治体病院
【グラフ】綾部市立病院

兼古 稔
田邊 紀幸

本郷だより

ヒポクラテスが生まれたギリシャのコス島には、彼がこの木の下で弟子たちを教えたといわれるプラタナスの木が生えており(もっとも、実際の樹齢は500年程度とも推測され、ヒポクラテスの時代に生えていた木の子孫という説もあります)、そこから得られた苗木は「ヒポクラテスの木」として、日本各地に植樹されています。巻頭グラフの取材で訪れた自治医科大学附属病院で、そのうちの1本を目にしました。もちろん見た目は普通のプラタナスの木ですが、由来を知ったうえで眺めると感慨深く思えてくるのは、少々単純すぎるでしょうか。

歴史上の人物に関係した木と言えば、仏陀がその下で悟りを開いた菩提樹があります。5世紀頃にインドで仏教が弾圧された際に元々の木は切られてしまったものの、挿木によって各地に植樹され、現在も育っていると。一部からでも育つ植物の強みですね。

ちなみに、本郷から丸の内線で2駅のところにある小石川植物園には、ニュートンのリンゴとメンデルのブドウ(研究していたのはエンドウマメだけではなくたんですね)が並んで植えられているそうです。(落)

(今田・落合・松永)

告知板

第6回東京都病院学会

医療現場は護られているか

2月20日(日) 東医健保会館(東京都新宿区)

●プログラム：学会長講演「働きやすい職場を創るための自助努力」中西泉(町田慶泉病院)、シンポジウム「働きやすい職場を創るために」、他

○連絡先：(社)東京都病院協会事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5

東京都医師会館内306号

TEL：03-5217-0896 FAX：03-5217-0898

gaktmha@xqb.biglobe.ne.jp

http://www.tmha.net/poster_pdf/20110220

gakkaipdf

「忘れられない看護エピソード」募集

2011年度「看護の日・看護週間」行事

締切：2月28日(月)

●テーマ：「看護」を通して得た、忘れられない思い出やエピソード

●応募資格：①看護職部門：現在看護職の方(国内)、または過去に看護職に就いていた方、②一般部門：国内在住の方

●文字数：800字以内

○連絡先：「忘れられない看護エピソード」事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-7

TEL：03-3263-5900 episode@prk.co.jp

http://www.nurse.or.jp/home/2011episode.html

第28回日本医学会総会

いのちと地球の未来をひらく医学・医療

4月8日(金)～10日(日) 東京国際フォーラム(東京都千代田区)、他

●プログラム：会頭講演「いのちと地球の未来をひらく：理解・信頼そして発展」矢崎義雄(国立病院機構理事長)、ノーベル賞受賞記念講演「研究に取り組む姿勢や志について」鈴木章(北海道大学名誉教授)、特別企画「病院と勤務医の未来をひらく」、他

○連絡先：第28回総会 事前参加登録デスク

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-51-1

TEL：03-3310-2391 FAX：03-3310-2392

http://www.isoukai2011.jp/

病院 (第70巻第2号)

2011年2月1日発行(毎月1回発行)

定価2,940円(本体2,800円+税5%)

2011年年間購読料(税込定価、送料弊社負担)
冊子のみ34,200円 冊子+電子版44,500円
電子版/個人34,200円 電子版/共有39,330円

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

本誌編集室直通 ☎(03)3817-5719 FAX(03)3815-7802

販売部直通 ☎(03)3817-5659・5660 FAX(03)3815-7804

e-mail: byoin@igaku-shoin.co.jp 振替口座00170-9-96693番

印刷所 横山印刷(株) ☎(03)3622-6161

広告申込所(株)ハイブリッジエージェンシー ☎(03)3814-0089/デザイン：デザイン・プレイス

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo
©2011, Printed in Japan.

・本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

【JCOPY】〈(社)出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・医学書院ホームページ http://www.igaku-shoin.co.jp

・「病院」URL http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/byoin

(五十音順)

■編集顧問 岩崎 榮・大道 久・河北博文・紀伊國献三・竹内 寛

■編集委員 池上直己(慶應義塾大学教授)・伊関友伸(城西大学准教授)・猪口雄二(寿康会理事長)
神野正博(恵寿総合病院理事長)・広井良典(千葉大学教授)・山田隆司(台東区立台東病院管理者・院長)

■編集協力 笥 淳夫(国立保健医療科学院部長)・中山茂樹(千葉大学教授)